

5 「その時わが子を守れますか」 思いを込めた冊子で防災知識を普及

子育てを応援するNPO法人ミラクルウィッシュの活動の一つ「さんだ女子防災部」が、啓発冊子「さんだ親子防災ノート」「ポリ袋クッキング」を作成。代表の益田紗希子さんに制作の経緯を伺いました。(取材・文 本紙編集部)

防災啓発活動を始めたきっかけは。

2014(平成26)年、三田市の母親たちでミラクルウィッシュを立ち上げた際、防災を学ぼうと提案。「災害時にわが子を守る親になりたい」との思

いからでした。17年以降は「さんだ女子防災部」の看板を掲げ、得た知識を伝える側に。講演やイベントを通じて子育て世代に普及しています。

「さんだ親子防災ノート」

制作の経緯は。

活動の教科書として著作権フリーの冊子を使って

いましたが、住んでいる地域ならではの情報がないと自分事として捉えられません。昨年4月から半年ほどかけて「三田版」を制作。「三田で想定される3つの災害」などを載せています。

「ポリ袋クッキング」制作の経緯は。

コロナ禍で対面活動ができなくなり、ポリ袋調理の動画配信やオンライン講座を実施。その中で人気だった6品のレシピをまとめ、今年1月に発行しました。

今後の抱負を。

防災ノートのウェブアプリ版を神戸大学の大学院生が作ってくださったことをご縁に、若い世代との交流も進めていきたいと考えています。



PDFデータは同法人のホームページからダウンロードできます。



さんだ親子防災ノートウェブアプリ版はこちら



冊子PDFのダウンロード、全体の問い合わせはこちら

ポリ袋クッキング

親子丼

【材料(2人分)】

無洗米1合、水200cc、焼き鳥缶詰(たれ)2缶、タマネギ(スライス)2分の1個、卵2個、ポリ袋(高密度ポリエチレンで「湯せん可」の表示があるもの)2袋

【作り方】

① ポリ袋に水と米を入れ、空気を抜いて袋の口を結び、30分置く。/② もう一つのポリ袋に焼き鳥缶、タマネギ、卵を入れ、軽くもみ混ぜてから空気を抜き、袋の口を結ぶ。/③ 鍋に湯を沸かし、①②を入れて弱火で30分加熱する。/④ ①のご飯に②の具をのせる。



「災害時にわが子を守るには知識が必要」と益田さん。

6 ユズと隠れた特産品の小豆で 3通りの楽しみ方ができます



「ゆずと小豆のジャム」(写真)は、150g入り864円。「ゆずと生姜のジャム」は、155g入り648円。

ゆずと小豆のジャム、
ゆずと生姜のジャムを
セットで5人に
プレゼント

応募方法は7面へ

注文方法は
こちら

同組合に併設する安富
ゆず工房やひょうごふ
るさと館などで購入で
きます。



姫路市安富町はユズ以外に小豆の栽培も盛んですが、大半が市外に出荷され、地元ではほとんど流通していません。2018(平成30)年、地域の特産品を組み合わせた商品の開発を目指す「中播磨『海・里・山』をむすぶ『食』の研究会」の協力を得て、商品化しました。ユズのマーマレードと大納言小豆のジャムの2層になっており、個別に味わうのはもちろん、混ぜると甘酸っぱくなり、ひと瓶で3通りの味わい方ができます。令和3年度優良ふるさと食品中央

コンクール新製品開発部門では農林水産省大臣官房長賞に選ばれました。姫路市産のショウガを使った「ゆずと生姜のジャム」もできました。併せてお楽しみください。(安富ゆず組合理事 中塚泉さん)



安富ゆず組合 姫路市安富町長野320-1 ☎0790-66-2801 安富ゆず組合

7 古くからの月の名所が 県の文化財になりました

絵島は岩屋漁港に浮かぶ周囲200m、高さ13mの小島です。風と波による浸食で独特の形状になり、表面には地層に沿ったしま模様が見られます。平安時代から月の名所として知られ、「枕草子」「平家物語」、西行の和歌などに登場、明治時代以降は絵画・写真(絵はがき)の題材にも取り上げられています。今春には、県指定文

化財(名勝)になりました。今はコロナ禍で中断していますが、例年は地元住民が中心となり、中秋の名月に観月会「絵島の月を愛でる会」も催しています。再開できる日を心待ちにしています。(絵島の月を愛でる会実行委員 畑美代子さん)

※絵島は立ち入り禁止です
◎淡路市商工観光課
☎0799-64-2542 ☎0799-64-2530



提供:津名フォトクラブ 稲家茂さん